

# 令和4年度「定時総会」開催

去る5月30日(月)、ホテル東日本宇都宮において令和4年度定時総会が開催されました。

本年においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に引き続き、できるだけ委任状での参加を依頼した上で、表彰式も中止するなど規模を縮小し、時間を短縮して行いましたが、皆様の御理解と御協力を得て無事に定時総会を終了いたしました。

総会には、会員87名の出席をいただき、委任状出席者と合わせて318名となり、定款に定める定足数を満たし総会は成立となりました。

冒頭の開会あいさつで、谷黒会長は今年も引き続き「構造改革」を推進し、公共事業予算の確保や受注機会の拡大に努めるとともに、真に会員のためになる協会事業の推進に取り組んで参りたいと述べました。

本年の総会には来賓をお招きし、佐藤勉衆議院議員、五十嵐清衆議院議員、佐藤信秋参議院議員、上野通子参議院議員から心のこもった祝辞を頂戴しました。また、出席が叶わなかった足立敏之参議院議員はお祝いのメッセージをお寄せくださいました。

国会議員の先生方からは、この国会で土地改良法が改正され、災害防災上メリットがある土地改良については地元の農業者の負担なしでできるような枠組みもできたため、今後は土地改良の事業が増えてくる可能性がある、期待が膨らむ報告もありました。

福田富一知事と山形修治県議会議長は県議会本会議終了後に駆けつけていただき、ご挨拶をいただきました。

福田知事のあいさつでは鳥インフルエンザ、豚熱の防疫活動への感謝と、社会生活の維持に欠かすことのできないエッセンシャルワーカーとして、新型インフルエンザワクチン接種の優先接種の対象業種に指定していただいたことが述べられました。

山形議長からは、昨今自然災害が大規模化・頻発化する中、初動対応から復旧作業に至るまで現場の

最前線で尽力いただいているとお認めいただく言葉をいただきました。

その後、議事に入り、「令和3年度事業報告・収支決算報告」が原案どおり承認され、理事会承認事項となっている「令和4年度事業計画・収支予算」が報告されたのち、最後に、任期満了に伴う「役員改選」では、役員推薦名簿のとおり承認されました。直ちに理事会を開催し、正副会長、常任理事、専務理事、常務理事の選定が行われた結果、別掲のとおり役員が選任されました。

最後に新役員を代表して谷黒会長があいさつし、協会のさらなる発展と建設業振興のための取組の推進に励むとともに、創立以来100周年となる本年を新たな出発点として、次の100年に向けて、建設業が希望の持てる産業として進化を遂げていくために、全力を傾注していく考えであると決意を述べました。

また、同日には、建設業労働災害防止協会栃木県支部の総会が、また5月31日には栃木県建設産業団体連合会、栃木県建設業協同組合連合会、栃木県土木施工管理技士会の総会が開催され、それぞれ3年度事業報告・収支決算報告、4年度事業計画・予算案、役員改選の件等が承認され、執行部に今後の適正な執行を託しました。



令和4年度 総会の様子